わかまつのわ

令和８年１１月４日
相模原市立若松小学校
学校だより No.７

運動会…たてわりの意義とともに高学年に注目！

校長　　神原　由香里

２学期は行事が多く、どの行事も意義は高く、その行事を通して子どもたちは大きく成長します！まさに、これが学校の醍醐味！そんな中でも、やはり、全校が一堂に会し、競い合い、表現し合う運動会は最も意義が高いと言っても過言ではないと思っています。保護者の皆様には子どもたちへの熱い声援をいただき、この声援によりさらに子どもたちは頑張れて、大きな成長への後押しとなりました。本当にありがとうございました。

運動会は、高学年が係活動を通して、裏方として活躍する場でもあります。その係活動の一つとして今年から登場したのが、ふれあい委員になります！運動会では、応援団になります！



初めての応援合戦！





見たこともないことに挑戦するのは、勇気がいるし、ゼロから「１（イチ）」を作り出すのは本当に難しいことです。その「初めて」に挑戦したふれあい委員の応援合戦は、両チームとも甲乙つけがたいすばらしいものでした。勝負に勝敗はつきものです。今年は白組が勝ちましたが、最後まで堂々とした態度の団長は二人ともかっこよかったです！そして、きっとこの応援団に憧れて、ふれあい委員に立候補する子が増えることは間違いないと感じました！

徒競走の順位を判定する決勝審判係！



全学年の徒競走で活躍したのが「決勝審判係」。「今年こそ１位をとるぞ！」、という気合いで走ってくる一人ひとりの頑張りに応えるべく、間違いは許されない、という緊張感の中で仕事をします。さっと自分の担当順位の子を等級旗に案内し、スムーズに進行しました！



学年団種目などで、素早く準備する道具係！



動きが速すぎて画像もピンボケ！（笑）



進行を真剣な表情で見守る放送係！



流暢なアナウンスは
練習の成果！



採点に採点を重ね、ドキドキの結果発表の得点係！

白組優勝！



児童会役員は、開閉会式を担当します！





応援してくださった方々への感謝の気持ちもしっかり伝えました！



立派な閉会の言葉！

5.6 年生はどの係も立派に仕事をやり切り、下学年から「あんな高学年になりたい！」と思われる存在としてまた一つ大きく成長しました。また、ふれあい班のたてわり活動も充実しましたが、今回表現を学年団で実施したことで、学年団の上学年（2・4・6年）にとっても下学年をリードしていく自覚が強くなったのではないかと感じました。

そして、さらに、今年は全てのクラスを二分割して、どのクラスも半分赤組・半分白組というチーム分けにしました。つまり、どのクラスにも勝った色、負けた色の子がいたことになります。勝敗により、勝った子は嬉しいですが、負けた子は悔しい思いをします。その思いをクラスの中でお互い感じることにより、相手の気持ちに思いを馳せたり、また切磋琢磨する関係が生まれたりしていくと思います。これからもクラス・学年の壁を取り除き、どの立場の人にも寄り添えるような心を育てていきたいと思います。